

図書館と学内他部門及び教員との連携による課題解決を考える（教育・学習支援）

全学連携推進センター設立による部署間 連携の実現と学内資源の効果的活用

- 図書館×○○ のススメ -

平成28年度大学図書館職員短期研修（東京会場） 5班

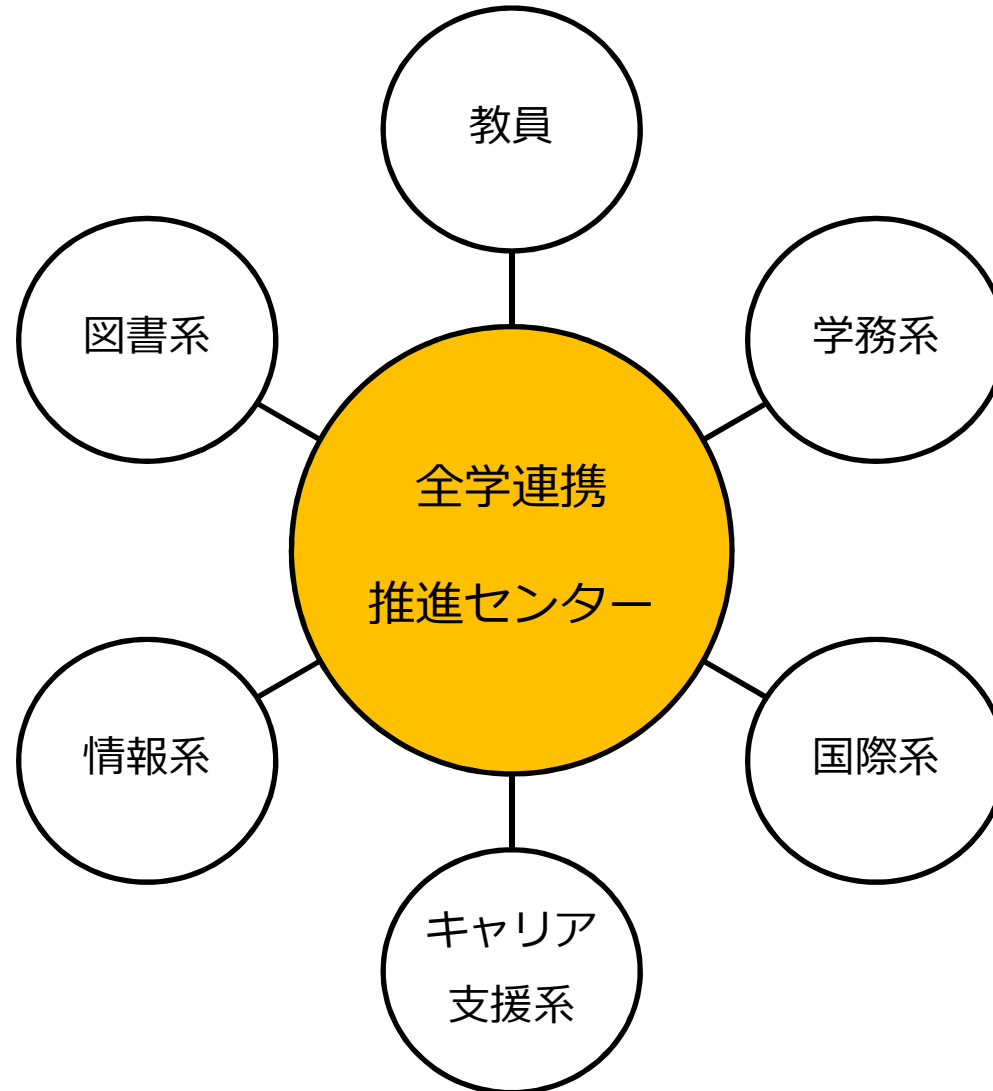
井上 木野村 清水(程)
円谷 長谷川(千) 藤田

大学の使命と課題

使命：専門知識を習得させるだけでなく、自ら考え、学び続けられる学生を育成すること
(= 学生の問題解決能力を養うこと)

課題：他部門の職員同士、あるいは教員と職員が十分に連携できていないことにより、学内のリソースを効果的に活用できてはいない

提案



全学連携推進センターとは

業 務：教育・学習支援に特化したコーディネーター。
他部門同士、あるいは教員と職員（部門）の
ニーズをマッチングさせる。

構成員：センター長、管理職、係員などで構成。
職員は、様々な部署（図書系を含む）から異動。
職員数は、大学の規模に合わせる。

任 期：3年程度。

目標と効果

全学連携推進センターが発足することにより、

- 学内の**連携が推進**される
- 学内の**リソースを効果的に活用**できる
- **学生に質の高いサービスを提供**することができる
- **大学全体の魅力をUP**させる

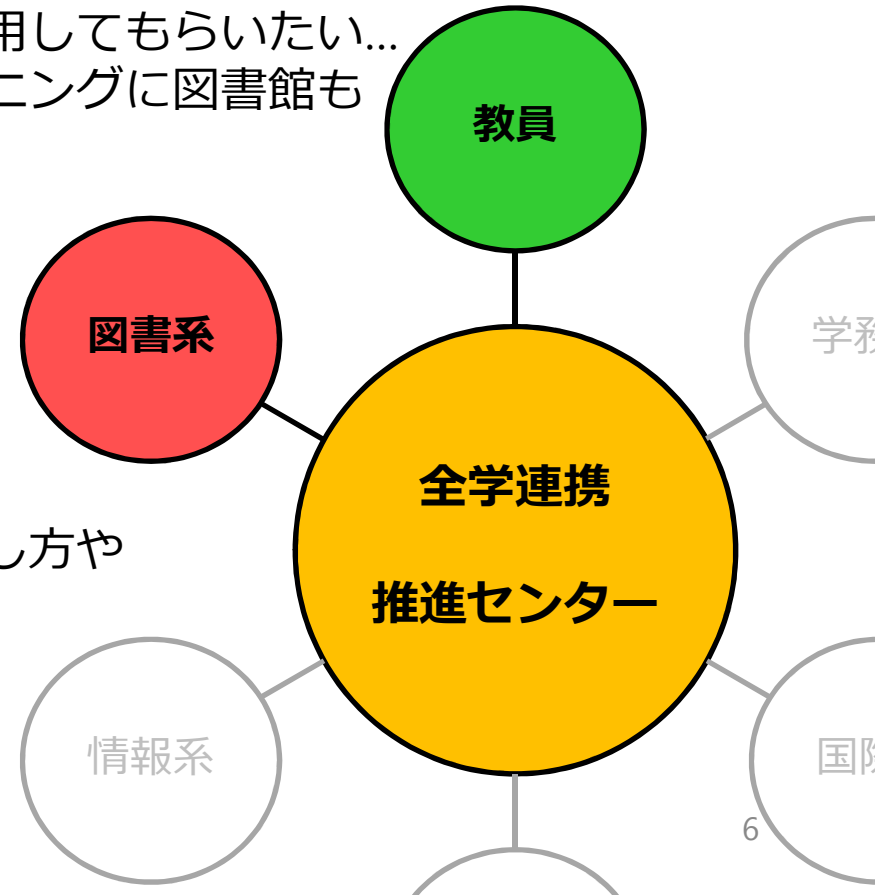
図書館の場合（教員との連携例）

図書館の悩み（例）

- ・ 図書館を使ってくれない学生さんも多い...
（論文提出時期に慌てて駆け込んでくる）
- ・ 先生に、図書館の施設・機器や、検索等の職員のスキル、レファレンス等のサービスを知ってもらい、そして授業に活用してもらいたい...
- ・ 全学的に取り組んでいるアクティブ・ラーニングに図書館も関わりたい...

教員の悩み（例）

- ・ 可動式の椅子と机、ホワイトボードがある場所を授業で使いたいけど、どこにあるのかな...
- ・ 能動的に授業に参加してもらいたいから、学生の自学自習を促したいけど、資料の探し方やレポートの書き方も知らない学生もいるし、サポートが大変だな...



図書館の場合(教員との連携効果)

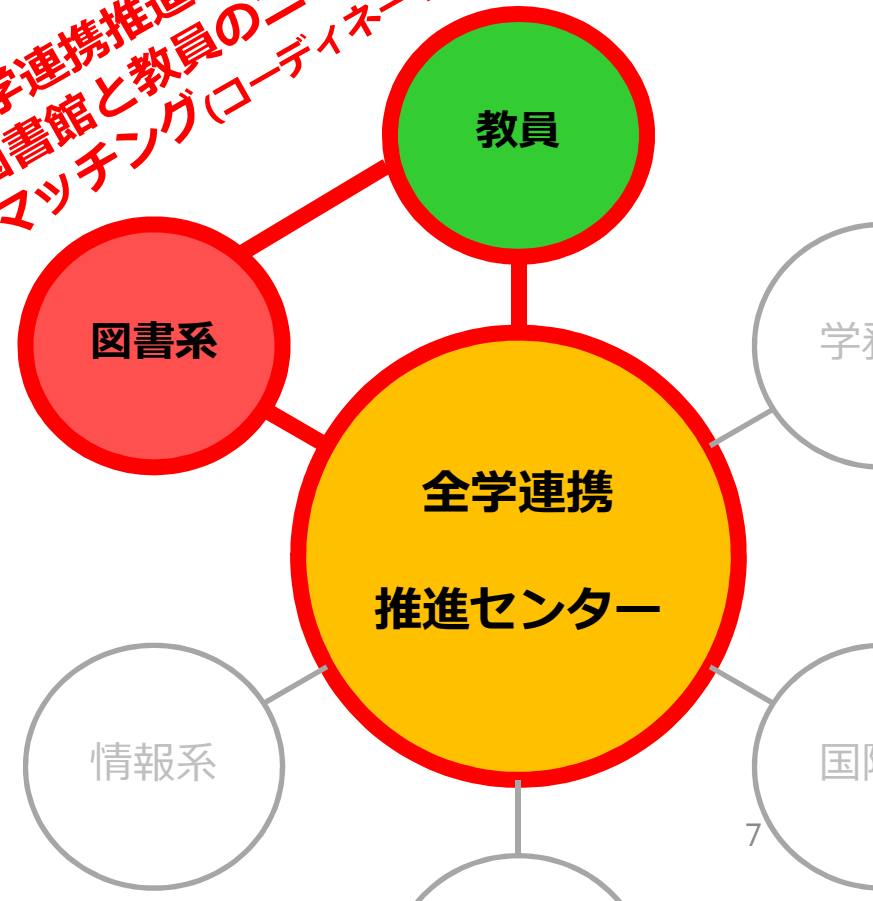
図書館側の効果（例）

- ・今までは困っている先生の存在に気付かなかったけど、そのような先生にも図書館をアピールできた！
- ・図書館を授業でも積極的に活用してもらえるようになり、それに伴って学生の図書館利用も増えた！
- ・今度から授業の中で一コマ担当させてもらえるようになった！
- ・先生と一緒に授業をデザインできるようになった！

教員側の効果（例）

- ・図書館リソース、サービスにやっと気がついた！
- ・授業の準備を手伝ってくれるのは学務だけだと思っていたけど、図書館も協力してくれるんだ！

！
全学連携推進センターが
図書館と教員のニーズを
マッチング(コーディネート)



図書館の場合(教員との連携効果2)

教員と連携することができたA大学図書館の例

①学生に対するリテラシー教育

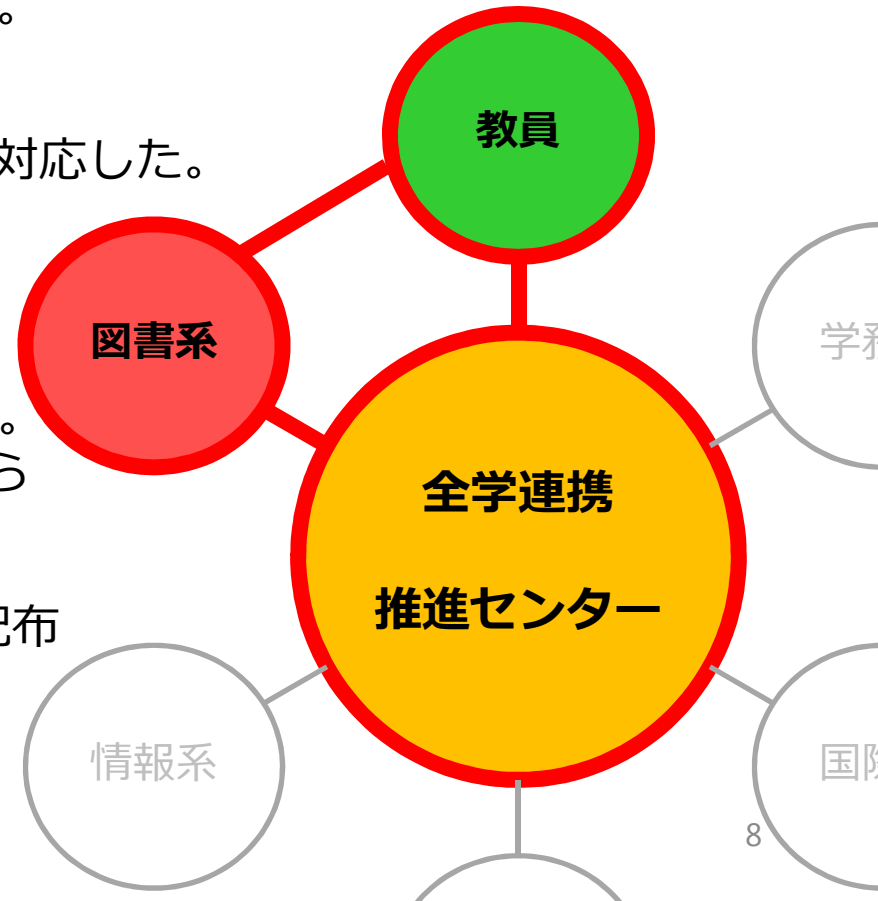
[今まで] 講習会の準備を**8名の職員**で行った。
参加者は**6人**だった。

[連携効果] 講義の一コマを任せ、**職員2名**が対応した。
受講者は**40人**だった。

②図書館利用に関するアンケートの回収率

[今まで] 図書館にアンケートBoxを設置した。
よく図書館を利用する**学生13名**から
回答があった。

[連携効果] 全学必修科目の中でアンケートを配布
してもらえることになった。
回答者数は、**320名**であった。



デメリット

- 全学連携推進センター発足のための予算
大学の予算が削減される今、新部門なんて作れるの？
- 図書館職員もセンターに配属される可能性あり
ただでさえ図書館職員は少ないのに、全学連携推進センターへの異動も有り得るの？

メリット1

- 全学連携推進センター発足のための予算
 - ⇒ 全学連携センターを発足することで、今までできなかった連携を促進し、学内のリソースを効率的、戦略的に活用することができます。
そして、大学の使命を遂行することができます。
- 図書館職員もセンターに配属される可能性あり
 - ⇒ 図書館職員もセンターに配属される可能性がありますが、数年後には、連携のための知識とスキルを持って図書館に戻ってくる仕組みを整えます。
このように、複数の部署から職員がセンターに配属され、そしてセンターから新たな部署に配属されるという流れができることが、大学全体の意識改革につながります。

メリット2

⇒全学連携センターが学内の取り組みを把握することで
企画内容の重複を防ぎ、**少ない人数で効率的な取り組みを
実施**することができる。

(例)

キャリア支援センターで就職活動関係のイベントを実施し、
一方で図書館は「就活生のための日経BP活用講座」を実施
している場合、2つを共催することで、

- ①携わる**職員数（業務量）を減らす**ことができる
- ②**効果的な広報**を行うことができる
- ③**開催場所も工夫**することができる

ご清聴ありがとうございました